

幸せになろうよ！

中二

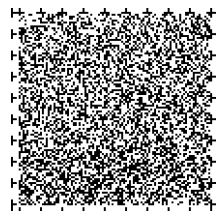
みなさんは、ブータン王国の国民総幸福量が、世界で一番高くなったことを知っていますか？ 九十五パーセントの国民が幸せと感じ、生活しているそうです。すごいと思う反面、本当かと半信半疑でした。そんな時、新聞で、この疑問を解決してくれるすてきな記事を見つけました。

それは、エグザイルのメンバーのUSAが、ブータン王国の小さな村を訪問したときの話でした。USAは村の祭りで、神の象徴と言われている龍の面をつけ、踊ることになりました。彼は人々に最高の踊りを見せようと、練習を重ねました。しかし、自分の踊りに何か足りないものを感じていました。その時、踊りの師に、

「あなたは、龍となり、人々の幸せを願うために踊る、という心を忘れていませんか？」と言われ、ハツとしたそうです。ダンスを上手に踊ることばかり考え、人々の健康や幸せを祈り、龍になりきつ

て心を込めて踊るということを忘れていたからです。祭りの当日、USAは、人々のために龍となり、一生懸命踊りました。そして、彼がそこで見たのは、温かい拍手を送るブータンの人々の幸せそうな笑顔でした。USAの目からは涙があふれ、今までにない幸せを感じたそうです。

この記事を読み終えて、誰かのために心を込めて行動することは、人を幸せにし、自分自身も幸せになれるのだと、私は思いました。ブータン国王来日の際、人々との交流や国会演説などをテレビで見ました。穏やかで、人々への思いやりを大切にしている国王の人柄が、よくわかりました。私はその時自然と温かい気持ちになり、幸せを感じました。ブータン王国の根底には、仏の教えがあるそうです。幸せになるためには、まず人のために何かをする。一人一人が他者を思いやり、接する。そうすれば、みんなが尊重され、人を思いやる気持ちも薄れることはないでしょう。ブータンの人々が、日々幸せを感じられる理由がわかった気がしました。その頃私たちのクラスでは、心を込



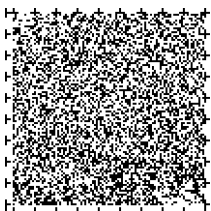
めて挨拶をしようという目標を掲げていました。授業の開始や終了時に、先生に感謝の気持ちを含めて挨拶しようと思ったのです。私は、先生に勉強を教えていただくという感謝の心を込めて挨拶しました。すると、とても気分よく授業が始められ、授業中も集中できました。どんなに心を込めた挨拶をしても、相手の目には映りません。けれども、心には映っているのではないのでしょうか。なぜなら、相手を思いやる心は、必ず相手の心に届くと、ブータンの踊りの師が言っていたからです。挨拶とは、言葉を発するだけでなく、心を込めて行うものだと思えることができませんでした。

二〇一一年の震災以降、絆という言葉をよく耳にします。絆は、一人で生きるのではなく、人と人が思いやり、助け合って生きていく強い結びつきのことだと私は思います。ところが、まだ私たちの周りには、いじめや自殺などの悲しいニュースがあふれています。みんなが、他者への思いやりの心を少しでも持ち、行動できたら、こんな悲しいことなど起きないと思います。

私は、小学校の時にいじめにあいました。仲間はずれでした。周囲の子は、いじめに気づいていながら、見て見ぬふりをしました。しかし、ある時一人の子が私のところに来て、優しい言葉をかけてくれました。私はとても驚きました。その子の顔を見て、言葉にはしなかつたけれど、「私と仲良くするといじめられちゃうよ」と心の中でつぶやきました。ところがその子は平然とした態度で私に接し、先生に相談し、解決に導いてくれたのです。その子の優しい行動のおかげで、私はいじめから解放されました。

いじめに関わっていないから大丈夫……それは違います！いじめを黙認してしまった時点で、誰もがいじめの加害者となっているのです。いじめの体験から、私は絶対に加害者という立場にならぬよう、強い思いをもち、三つの目標を決めました。

- 一 人のいやがることはしない、言わない。
- 二 優しい言葉と思いやりの態度で接する。
- 三 困っている人に手を差しのべる勇



気をもつ。

当たり前前のようにですが、行動を起こすことは難しいです。しかし、いじめから私を救ってくれた子のように、優しい心を持ち、勇気ある行動ができるよう、私は頑張ります。

今の私たちのクラスには、人の悪口やうわさ話などで盛り上がり笑うような人はいません。もちろん、いじめもありません。私たちに、相手のことを思いやり行動する心と態度が身につけている証拠だと思います。自慢のクラスです。

人と人との心の結びつきを大切にしているブータン王国のように、幸せを感じ生活するためには、人は一人では生きていけないのだから、人と人との絆を大切にし、感謝の心・思いやりの心を持つことが大切だと思います。他者を尊重し、人々の幸せを願い行動すれば、きっと自分の幸せにつながるのだから……。

